



平成19年3月期 中間決算説明資料

平成18年11月30日

トーイン株式会社

JASDAQ

証券コード：7923

平成19年3月期 中間決算概要

注記

本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。

本資料に記載の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

本資料に記載の前期比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総括

当中間期の業績は、包装資材事業におきましては、食品市場向け紙器および化粧品市場向け樹脂パッケージの売上は順調に増加し、売上高は4,462百万円(対前年同期比13.2%増)となりました。精密機器関連事業におきましては、精密塗工分野の新規取引先の開拓を行うとともに整備完了した生産体制を維持し、高品質製品の安定供給に努めてまいりましたが、既存得意先の精密塗工製品の在庫調整等により受注が減少し、その他関連商品の売上も低調に推移した結果、売上高は906百万円(同17.7%減)となりました。

この結果、当中間期全体の売上高は5,368百万円(同6.5%増)となりました。

収益面につきましては、増収と生産量の拡大や原材料の海外調達などの原価低減に努めてまいりましたが、原油価格の高騰に伴う原材料をはじめとする諸材料等の価格上昇に対して販売価格の改訂を十分に実施することができず、また、生産体制の再編成および生産設備の大幅な更新に伴う減価償却費、人件費等が増加したことなどにより、営業利益は58百万円(同27百万円減)、経常利益は46百万円(同38百万円減)、中間純利益は49百万円(同28百万円増)となりました。

<当期のトピックス>

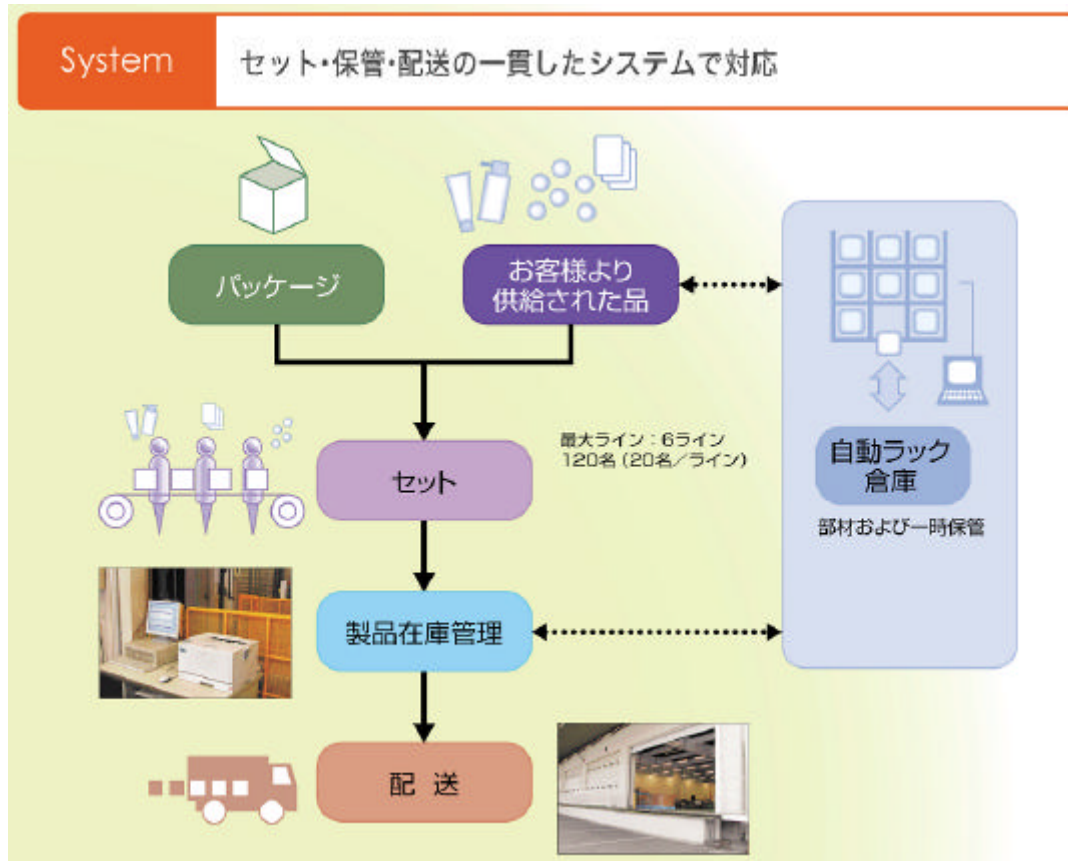
- 平成18年4月 タイ・PSC社との関係強化および海外事業の基盤強化を図るため、当社の役員2名がPSC社の役員に就任する。
- 平成18年5月 野田事業所を新設し、操業を開始する。
- 平成18年8月 包装資材事業の生産体制の再編成を完了する。
 - ・ 柏第一工場を紙器専用工場とし、生産設備を整備・増強する。
 - ・ 柏第三工場を樹脂パッケージ専用工場とし、生産設備を整備・増強する。

野田事業所の概要



Licenses 許認可

- ① 医薬部外品製造業許可
- ② 化粧品製造業許可
- ③ 食品製造業許可



平成19年3月期 中間損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (H18/9)		前中間期 (H17/9)		前年同期比	備 考
売 上 高	5,368	100.0 %	5,043	100.0 %	325	食品市場向け紙器、化粧品市場向け樹脂パッケージの売上増加
売 上 原 価	4,609	85.9	4,294	85.2	314	諸材料価格の上昇、減価償却費・人件費等の増加
売 上 総 利 益	759	14.1	748	14.8	10	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	700	13.0	662	13.1	37	
営 業 利 益	58	1.1	86	1.7	27	
営 業 外 収 益	21	0.4	31	0.6	9	
営 業 外 費 用	34	0.6	33	0.6	1	
経 常 利 益	46	0.9	84	1.7	38	賃貸料収入の減少
特 別 利 益	1	0.0	3	0.1	2	
特 別 損 失	16	0.3	63	1.3	47	
中 間 純 利 益	49	0.9	20	0.4	28	

平成19年3月期 中間貸借対照表



(単位：百万円)

	当中間期 (H18/9)		前中間期 (H17/9)		前年同期比	備 考
		%		%		
流動資産	7,921	44.6	6,297	42.6	1,623	現預金・売掛金等の増加
固定資産	9,826	55.4	8,483	57.4	1,342	
有形固定資産	7,746	43.6	6,549	44.3	1,196	野田事業所の不動産取得、生産設備の増強
無形固定資産	27	0.2	40	0.3	13	
投資その他の資産	2,052	11.6	1,893	12.8	159	
資産合計	17,747	100.0	14,780	100.0	2,966	
流動負債	5,641	31.8	3,984	27.0	1,656	設備支払手形の増加
固定負債	2,843	16.0	1,887	12.7	956	長期借入金の増加
負債合計	8,484	47.8	5,872	39.7	2,612	
株主資本	8,917	50.3	-	-	-	
資本金	2,244	12.7	2,244	15.2	0	
資本剰余金	2,901	16.4	2,901	19.6	0	
利益剰余金	4,231	23.8	3,522	23.9	708	固定資産圧縮積立金の増加
自己株式	460	2.6	44	0.3	415	
其他有価証券評価差額金	-	-	284	1.9	-	
評価・換算差額等	344	1.9	-	-	-	
純資産合計	9,262	52.2	-	-	-	
負債 純資産合計	17,747	100.0	-	-	-	
資本合計	-	-	8,908	60.3	-	
負債 資本合計	-	-	14,780	100.0	-	

平成19年3月期 中間株主資本等変動計算書



(単位：百万円)

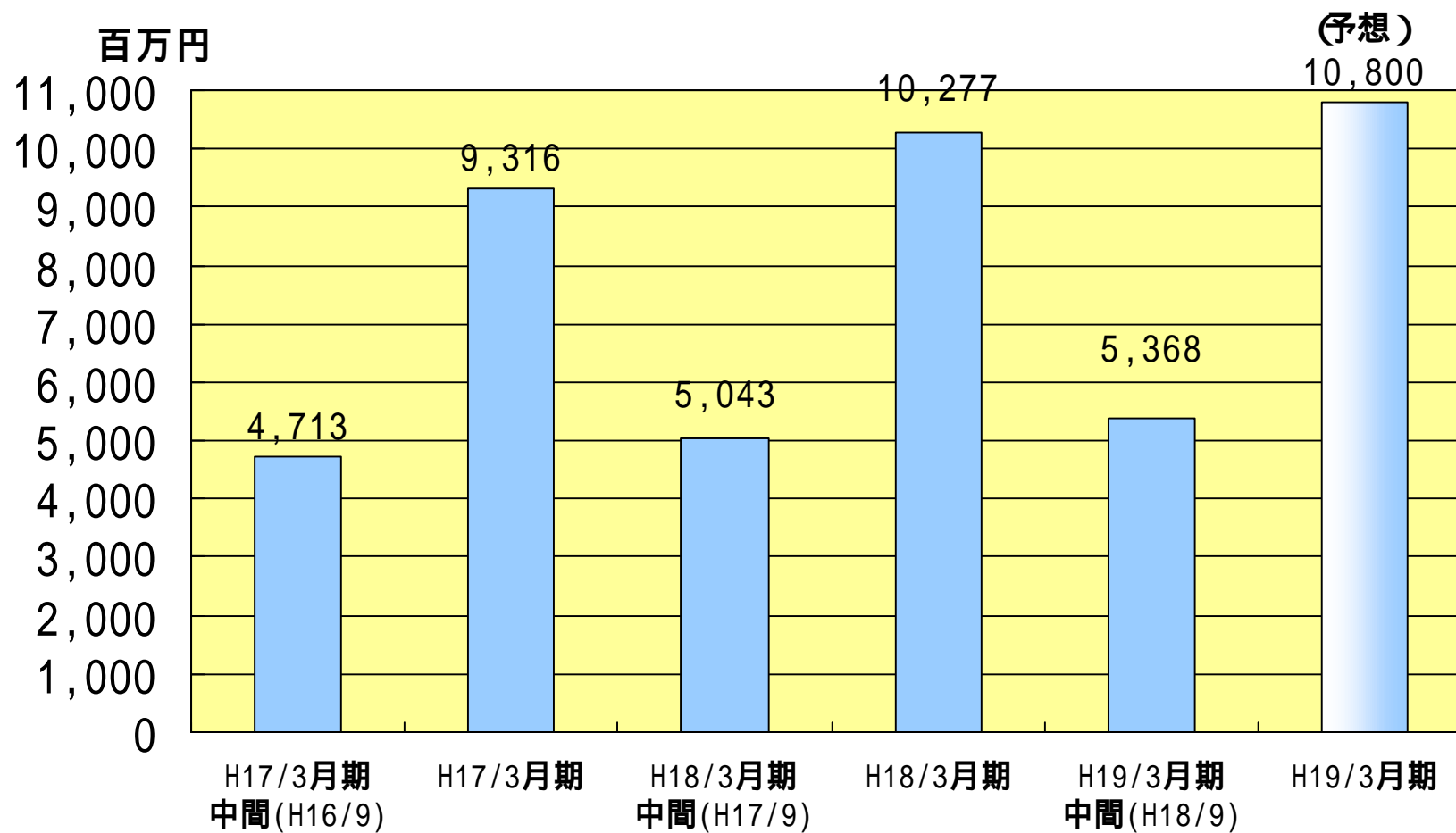
	株主資本							計	評価・ 換算 差額等 合計	純資産 合計
	資本金	資本 剰余 金	利益剰余金			計	自己 株式			
			利益 準備 金	その他利益剰余金						
				任意 積立金	繰越利益 剰余金					
H18年3月31日 残高	2,244	2,901	369	2,800	1,106	4,275	462	8,959	370	9,329
中間会計期間中の変動額										
固定資産圧縮積立金積立(当期分)				147	147	-		-		-
固定資産圧縮積立金積立(前期分)				407	407	-		-		-
〃 取崩				31	31	-		-		-
固定資産圧縮特別勘定積立金積立				147	147	-		-		-
〃 取崩				147	147	-		-		-
別途積立金 積立				200	200	-		-		-
剰余金の配当					83	83		83		83
役員賞与					10	10		10		10
中間純利益					49	49		49		49
自己株式の取得						-	0	0		0
自己株式の処分					0	0	3	2		2
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額									25	25
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	723	767	44	2	41	25	66
H18年9月30日 残高	2,244	2,901	369	3,523	339	4,231	460	8,917	344	9,262

平成19年3月期 中間キャッシュ・フロー計算書

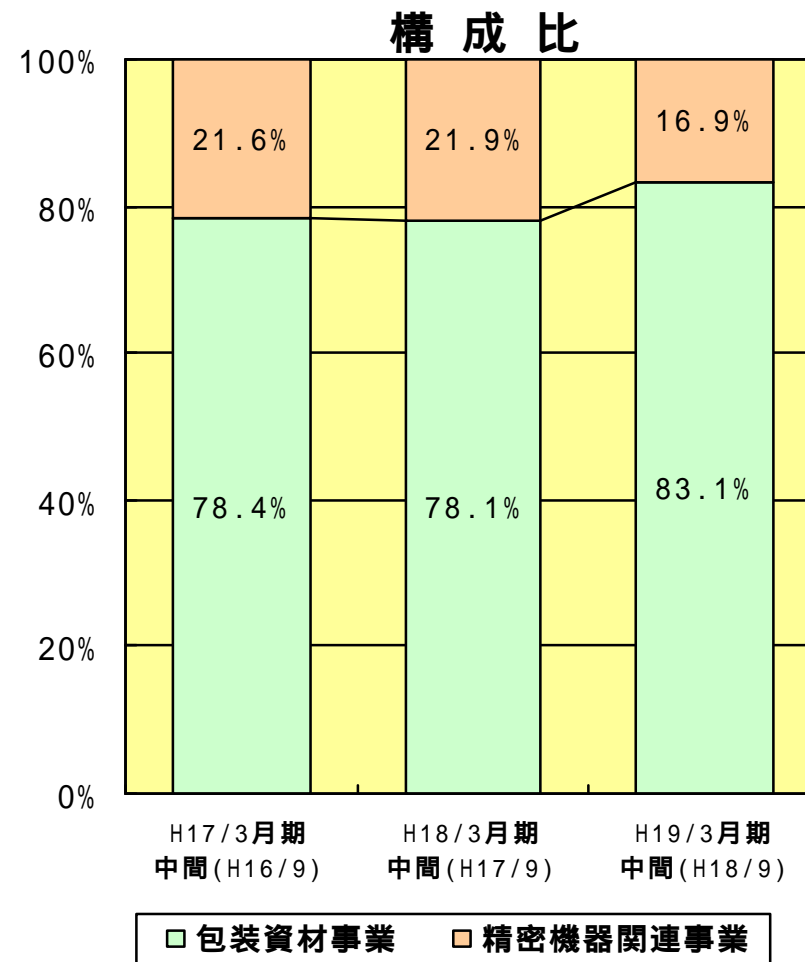
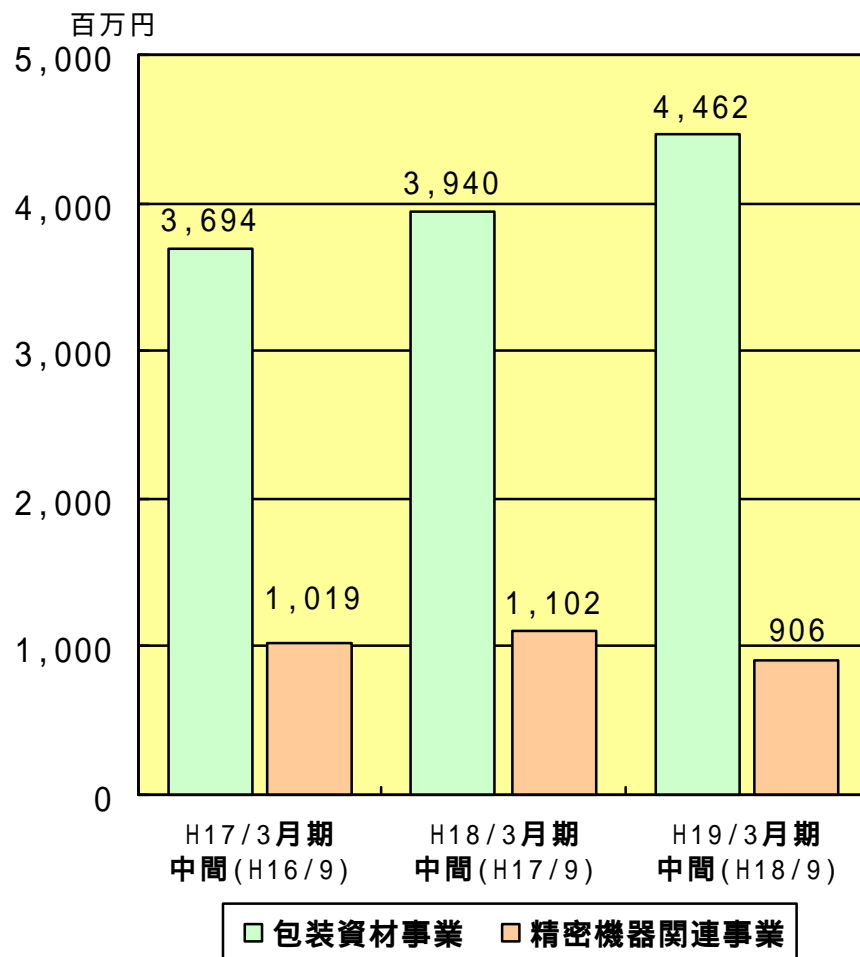
(単位：百万円)

	当中間期 (H18/9)	前中間期 (H17/9)	当中間期の特記
営業活動による キャッシュ・フロー	135	650	売上債権の増加 485百万円 棚卸資産の増加 217百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	249	591	有形固定資産取得による支出 218百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	354	295	長期借入による収入 600百万円 長期借入金返済による支出 156百万円
現金及び現金同等物 の増減額	30	235	
現金及び現金同等物 の期首残高	2,717	2,626	
現金及び現金同等物 の中間期末残高	2,687	2,390	

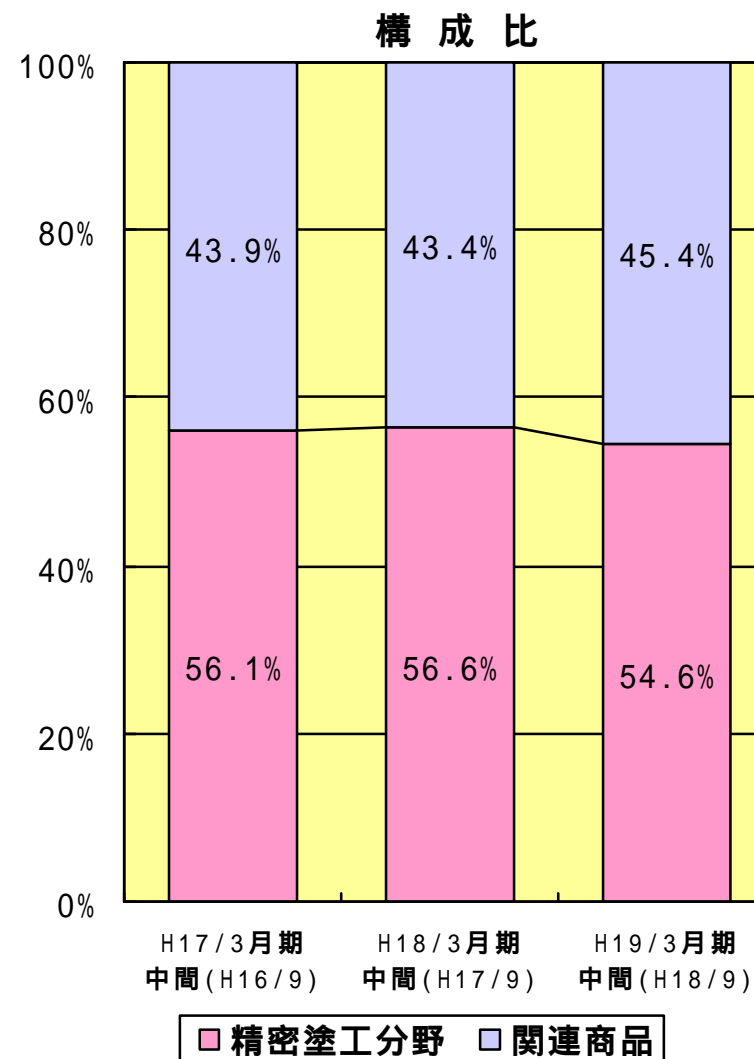
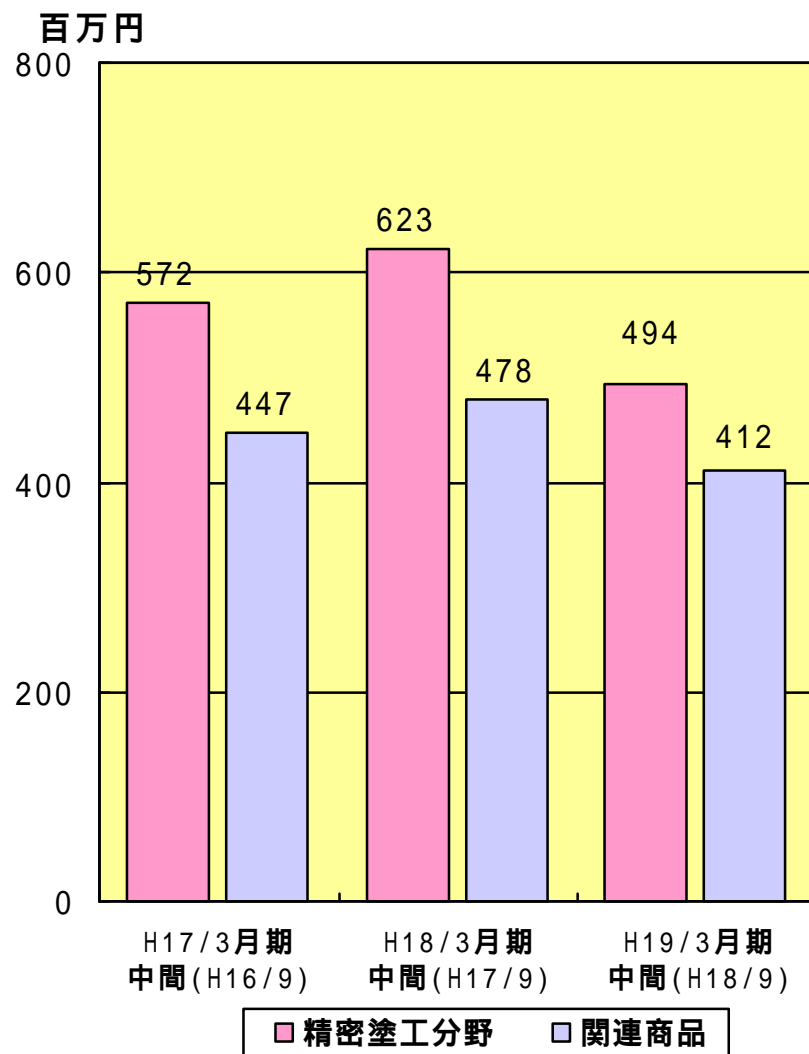
売上高の推移



事業別 売上高

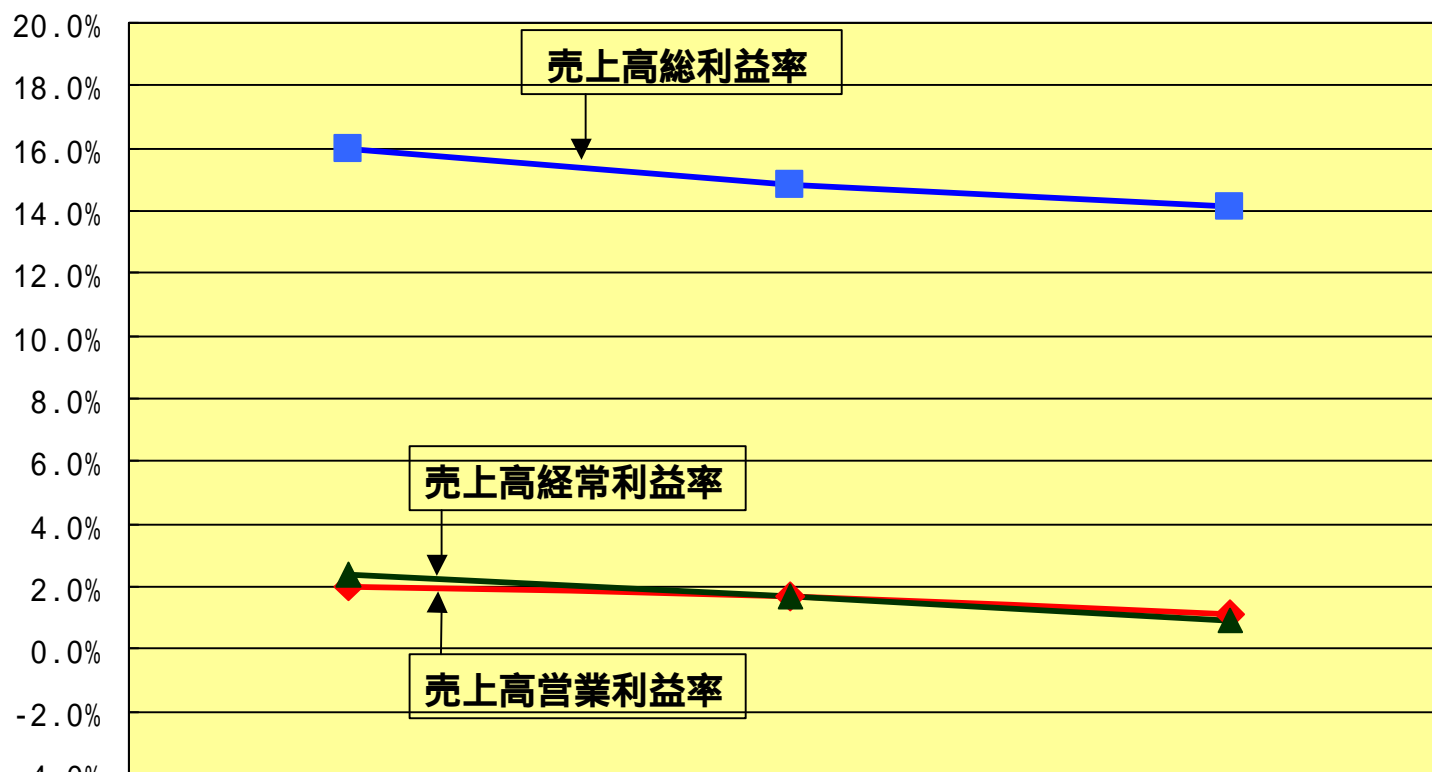


精密機器関連事業売上高の内訳



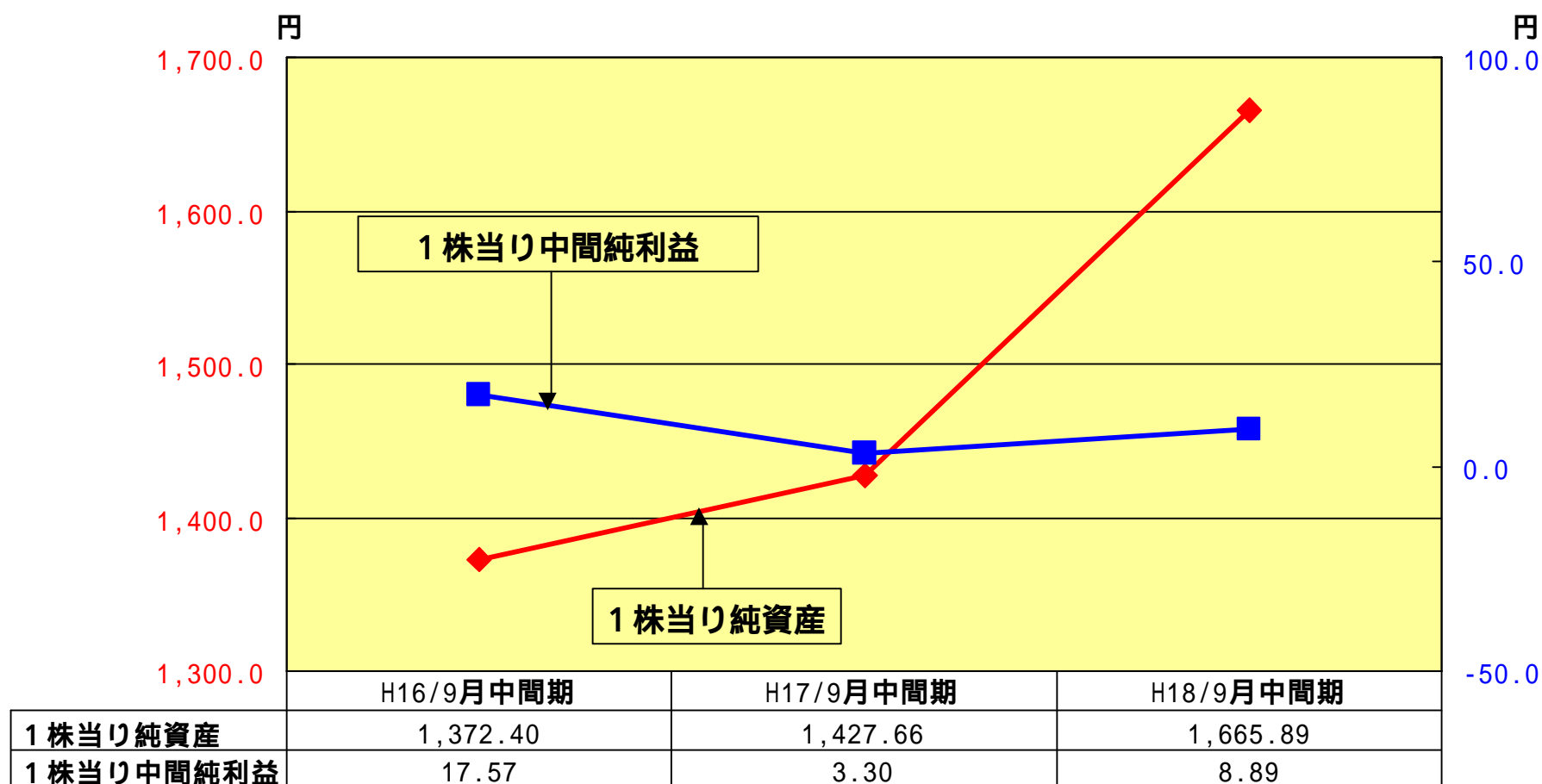
経営指標

経営指標

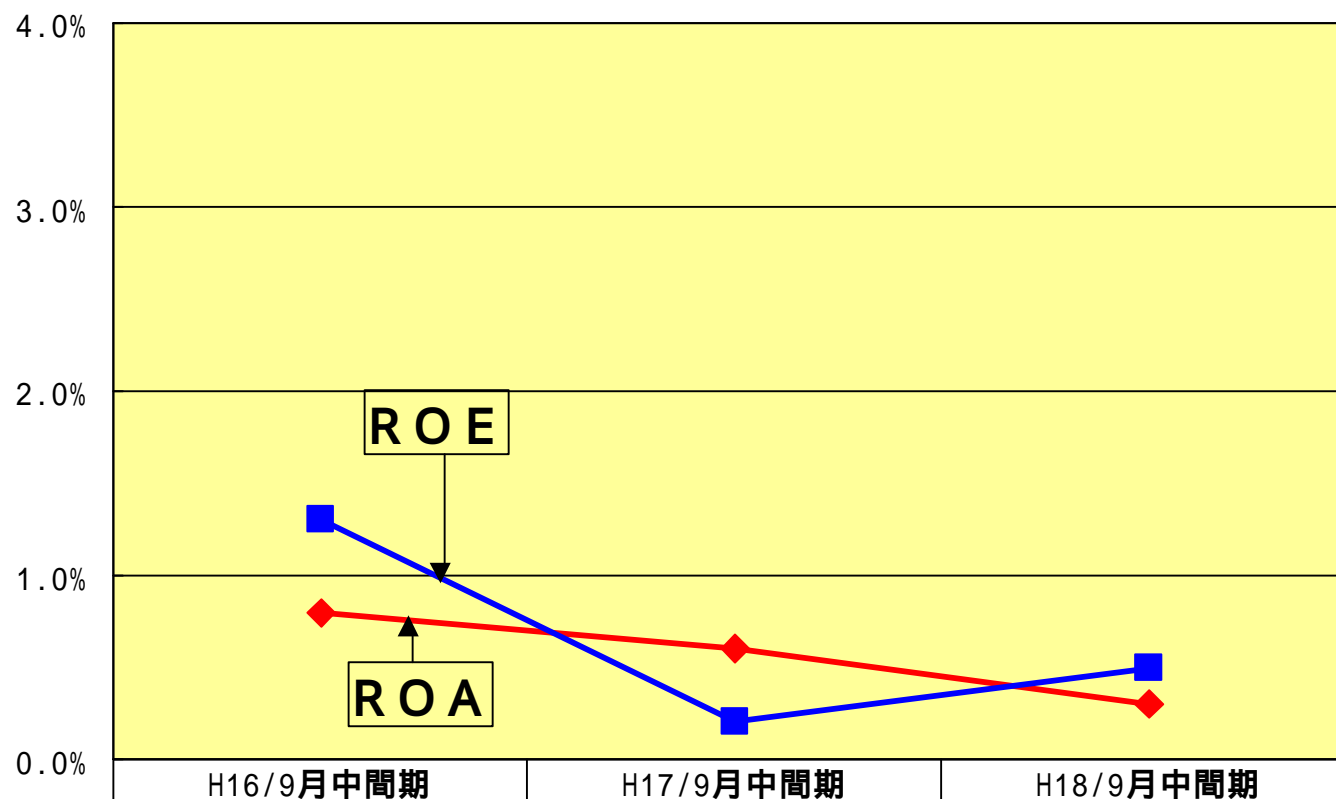


	H16/9月中間期	H17/9月中間期	H18/9月中間期
売上高総利益率	16.0%	14.8%	14.1%
売上高営業利益率	2.0%	1.7%	1.1%
売上高経常利益率	2.4%	1.7%	0.9%

経営指標



経営指標



ROA(総資本当期経常利益率)	0.8%	0.6%	0.3%
ROE(自己資本当期純利益率)	1.3%	0.2%	0.5%

平成19年3月期 業績予想

平成19年3月期の業績予想について

今後のわが国経済は、引続き緩やかな回復基調で推移すると思われませんが、一方で不安定な国際情勢、原油価格の高騰による原材料等価格の高値での推移および金利上昇が懸念され、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。このような中、当社は、部門別責任体制を活かし、担当する取締役が経営の諸施策を遂行することにより、多岐に亘る課題を解決し、一層の経営体質の強化と収益の向上を図ってまいります。包装資材事業は、企画提案型の営業活動と新規取引先・新分野の開拓の推進、取引条件の改善と原材料等の価格上昇に対して販売価格の改訂に努めてまいります。また、海外協力会社との連携を強化してお客様の海外資材調達ニーズに応えていくとともに原材料の海外調達によるコスト低減を行う一方、生産設備の増強と生産体制の整備が完了したことにより、高効率、単位生産量の拡大、外注費の削減など、より一層の原価低減に結びつく諸施策を実行してまいります。精密機器関連事業は、新規取引先の積極的開拓を行い、引続き生産設備を有機的に活用し、高品質製品の安定供給と生産量の拡大を図ってまいります。

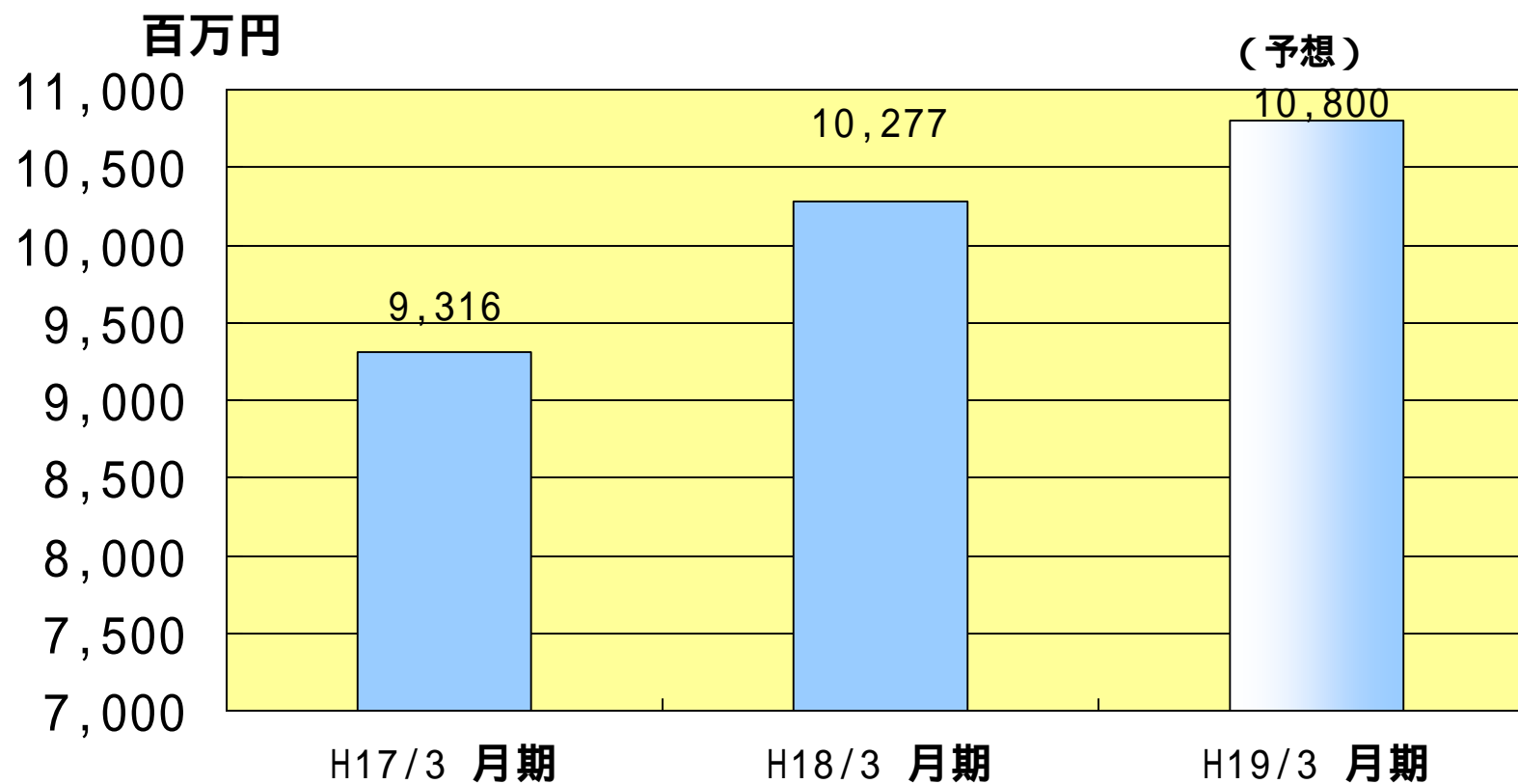
通期の業績につきましては、売上高10,800百万円、経常利益160百万円、当期純利益180百万円の見通しであります。

平成19年3月期の業績予想

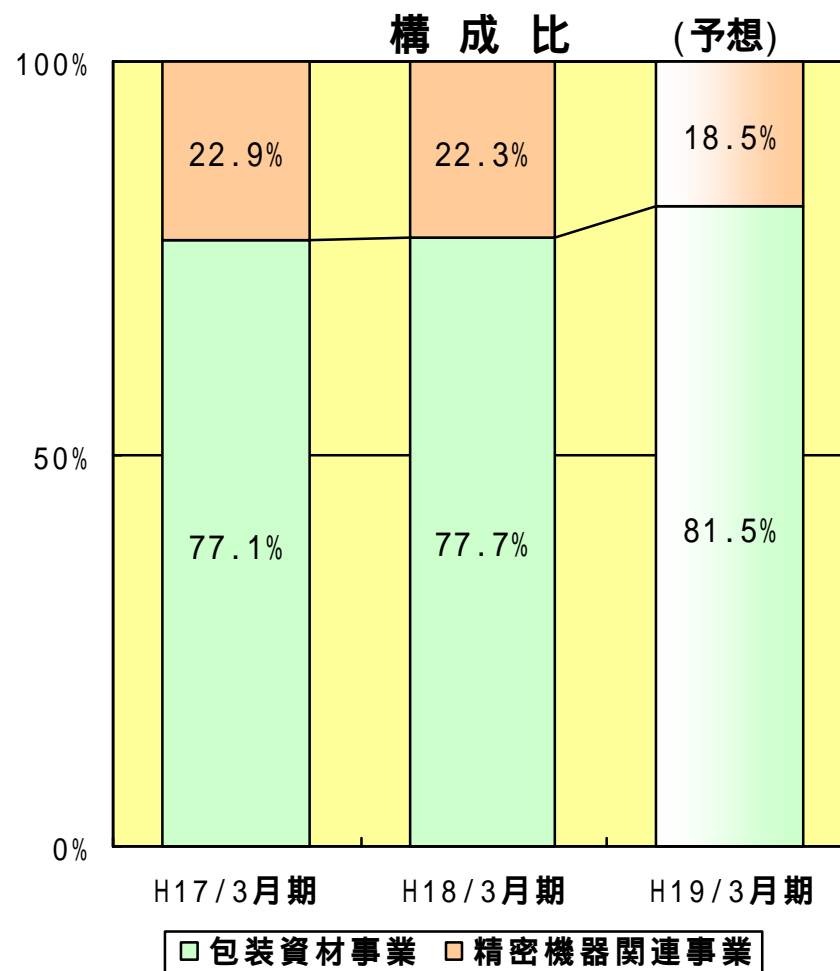
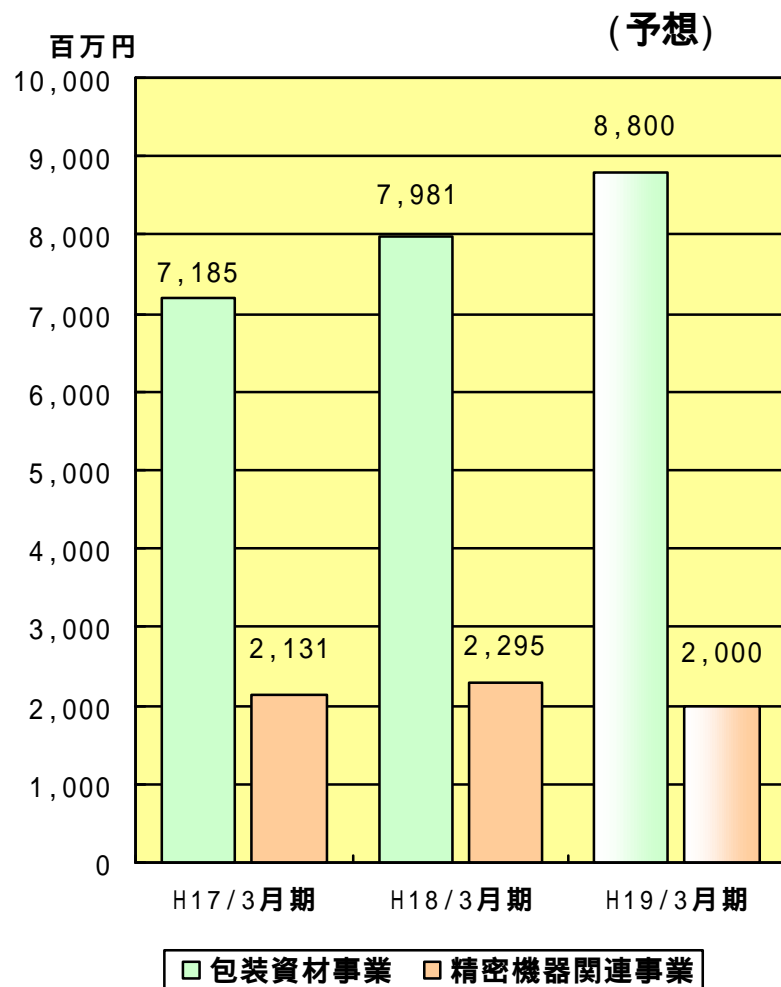
(単位：百万円)

	上期(実績)			通期(予想)	
		%			%
売上高	5,368	100.0		10,800	100.0
営業利益	58	1.1		200	1.9
経常利益	46	0.9		160	1.5
当期純利益	49	0.9		180	1.7

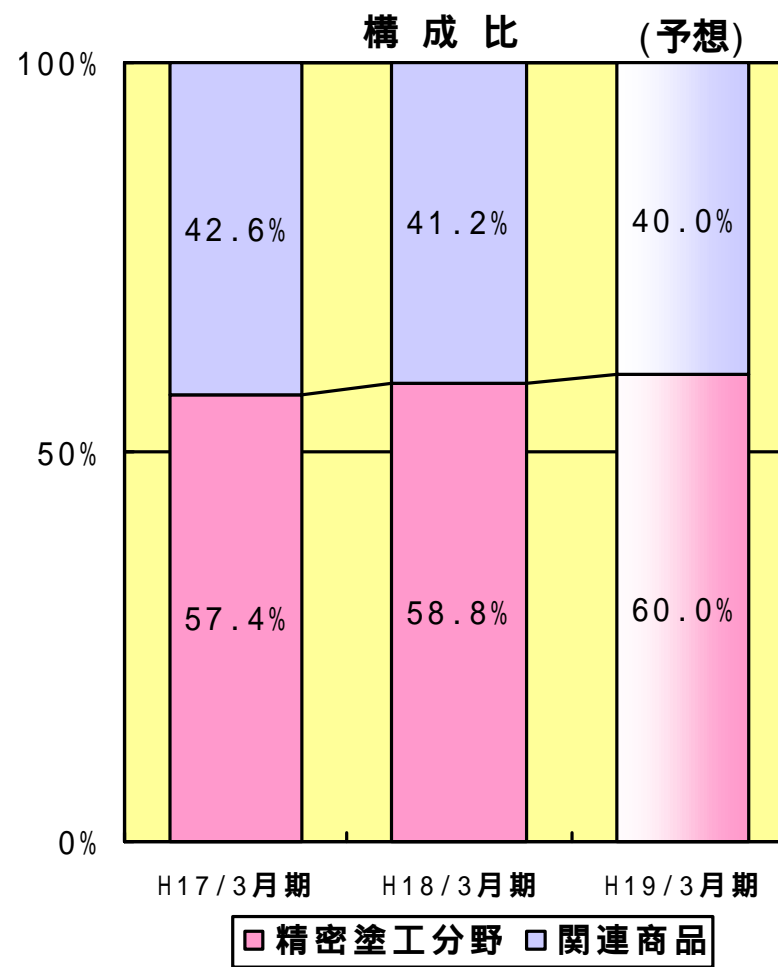
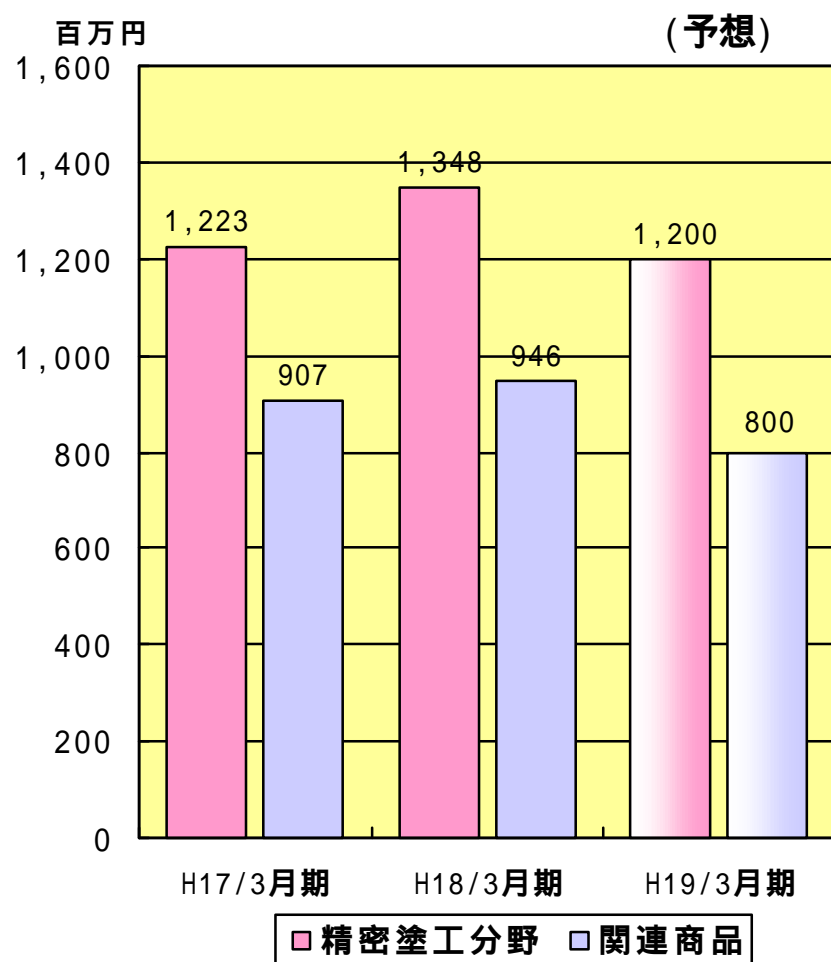
通期売上高



事業別 売上高



精密機器関連事業売上高の内訳



経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場に立って、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

また、グローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

< 経営理念 >

- | | |
|-----------|----------------|
| ・ お客様に学べ | それが社会への貢献につながる |
| ・ 技術革新に挑め | それが会社の発展につながる |
| ・ 夢と利益を追え | それが皆の幸福につながる |



トーイン株式会社

本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1

TEL : 04-7131-2111(代) FAX : 04-7132-6937

東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2

TEL : 03-5627-9111(代) FAX : 03-3638-1134

野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5

TEL : 04-7120-8805(代) FAX : 04-7120-8017

ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

本資料に関するお問合せ

総務部 TEL : 04-7131-6980 FAX : 04-7132-6937